



かさおか



「笠岡小さな映画館プロジェクト」 設立記念イベント

『笠岡小さな映画館プロジェクト』

代表 梶平一平

笠岡では1960年代(昭和35年)の最盛期には島しょ部も含め、10を超える映画館がありました。今では時代が変わり、映像を見る手段はDVDやインターネットなどに様変わりをしています。

しかし、映画の魅力は根強く残っており、大ヒットの作品が生まれ、若い人が映画館に駆けつけるなど少なくありません。そこでこの度、地元有志で『笠岡小さな映画館プロジェクト』を立ち上げました。

井戸会館には平成29年度に整備したシアタールームがあり、ここを拠点にして設備の活用を図って参りたいと思います。

★具体的な活動をご紹介しますと

- ① 「IDDOシネマ」としての上映活動
- ② 高校生や若者会議など発表の場としてシアタールームを活用
- ③ マイ映画館として、家族や友人などで気軽にシアタールームを活用
- ④ 市内の古民家、公民館などを繋いで小さな映画館の普及宣伝活動など。

会員はまだ13名ほどですが、年1〜2回の自主企画上映会や笠岡でロケをした映画の上映、また映画に纏わる資料の収集もを行いますので、皆様のご協力をお願いします。

9月の行事予定

- 9月22日(水) 18:30～
令和3年第3回子育て部会を予定
- 9月29日(水) 14:30～
令和3年第4回くらし部会を予定



『笠岡地区まちづくり協議会』

事務所：笠岡市笠岡2627番地

「井戸会館」内

電話：63-5949

Fax：75-0101

E-mail：zukuri2@mx1.kcv.ne.jp

開館日：月・水・金曜日 14時～17時

「笠岡の地名」その⑥

(二)スサキ・仁王堂の続き

開扇山林光院(真言宗、醍醐三宝院末◇白玉稲荷)十九代、中塚さんによると、先祖中塚三郎兵衛尉季綱は柏嶋(玉島)の城が落ちてより、僧侶となり和銅元年からある由緒深い“林光院”をついた。時に天文八年十一月三日という。同じ浜田であるが地蔵堂小路に近い井戸の所へ、初めあったのを現在地へ移った。ここより南は家がなく、土手に沿うてヤブが茂り、さびしい所だった。

東本町{八軒屋町{は、いま中之町}石橋町=東本町三、四丁目}も含んで、単に本町ともいう。小路名に丹下横、エビス(黒田薬店の所にあった)地蔵堂、助市(幕末に甚之助、きみ、三之助の孝子)※孝子:父母に良く仕える子供のこと 広浜屋、胡屋、角屋、讃岐屋(後二つ西本町)があるが、略。

土手之内は駅近くの真入川筋。秋田伊三氏は「停泊する船頭を相手の遊女が出没していた」という意味のことを書かれている。

◎本町北通、浜田下、浜田中通、稲荷町(本町線路側)

(三)宮地・伏越

宮地は古い土地柄の一つという。林光院の井戸を掘ると貝がでたというし、とにかく浜田が海辺だったところから、宮地から渡し(渡屋)が行われたと伝わっている。井舟藪下は土手の地名？

宮地八幡宮(笠神社)の前の薬師(五輪塔、江戸期に仁科氏ら五十三人が管理)も永禄年代にあった古いもの。

応神山{加佐米山、笠目山}のふもとに斎藤神社〈摩利支天〉があり 昔、伏越への山越しの道筋で辻堂(阿弥陀堂)であったという。笠岡で斎藤氏といえば先祖がたいがいこの出である。同氏は平家の落武者(斎藤別当実盛の系統)といわれるが、神事に関係したのではなからうか。

淳和女学校の南に林光院の墓地があるが、ここに玄忠寺の庵があったという。同校北横の小さな谷の所に関の地蔵菩薩(セキ病の神様)があり、かつては薬師といい、一帯を薬師谷と呼んだ。

小山の並びは宮地八幡の上、たわ、戎山、東山、キツ子岩など。天正年間、小平井領主渡辺奎之丞の宮地の館。

宮地が古くからお宮があった所なら、伏越はそこへ丘越え、真角の難所(荒磯・落石)越えに行く所である。ふつつ、上、中、大磯地区に分け、伏越川(宮地川の下流)の南側は川向と呼ばれた。

姫屋は明治の初め、イシセキ、角九の二軒、東遊郭に西遊郭=勝利楼=の表現もあった。最盛期(昭和六年)十六の貸座敷に紅を溶く女六十余人。大正年代まで朝日楼から南側は海だった。

そこには海上へ、菰口魚市場が突き出ただけで、ほぼ現在のように広がったのは、栗家市次郎氏ほか大橋、高橋、柚木、佐賀野ら諸氏により埋めたからだ。西の療養舎跡◇稲荷も大正初め、菊池氏によって石がきがつくられた。

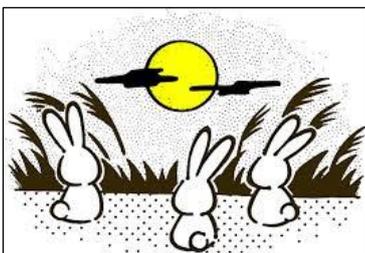
～次号に続く～

【資料提供】笠岡史談「笠岡の地名」広沢澄郎氏



編集後記

大衆娯楽として栄えた映画、笠岡に6つの映画館があって、洋画や邦画が個性のある映画館で上映されていました。数十年前の懐かしい思い出ですが、皆さんは如何でしょうか。 I・M



『クラフトバンド教室』を始めます

厳しい暑さが続きましたね。新しい趣味として人気を集めている「クラフトバンド」を使った手芸。紙バンドを順序よく編み込んでいくだけで、かごやバッグ、アクセサリなどを手作りすることができます。材料もリーズナブルで特別な道具も必要ないので、気軽に始めやすいのも魅力です。

福祉部会では、9月から井戸会館で「クラフトバンド教室」を始めます。興味のある方は申し込んでください。申し込みと準備物などの問合せは下記までお願いします。

福祉部会長 石井 澄 恵

☎080-1935-2831

